

社会資本整備審議会道路分科会 第7回東北地方小委員会  
【議事概要】

1. 日 時

平成24年1月19日（木）15：30～17：10

2. 場 所

東北地方整備局 二日町庁舎 2階 大会議室

3. 出席者

〈委 員〉

大滝精一委員長、大泉太由子委員、奥村誠委員、加賀谷聡一委員、坂本敏昭委員、  
福迫昌之委員

4. 議 事

1) 平成24年度新規事業採択維持評価

- ・直轄事業の新規事業候補箇所の選定の考え方について
- ・一般国道13号 福島西道路（Ⅱ期）
- ・一般国道121号（会津縦貫南道路）湯野上バイパス

2) 計画段階評価

- ・日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）

5. 議事概要

【直轄事業の新規事業候補箇所の選定の考え方について】

- ・事業費を250億円で分けることについての考え方は。

【一般国道13号 福島西道路（Ⅱ期）について】

- ・東日本大震災での土砂崩れなどを鑑みると、代替路としてバイパスの方が有利と思う。
- ・今回の整備により渋滞は緩和されるのか。
- ・トンネル及び東北道側に歩道は必要なのか。
- ・新規事業化については妥当である。

【一般国道121号（会津縦貫南道路）湯野上バイパスについて】

- ・観光渋滞が問題でありながら、観光で地域活性化をすることは相反していないか。
- ・日本海側と太平洋側の中心に位置し、災害時は非常に重要な位置づけにある。
- ・新規事業化については妥当である。

【日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）について】

- ・意見徴収結果として「出入り口が多すぎる」という意見があるが、-half ICが2

箇所になる事により3箇所になることについて、機会があれば周知すべきでないか。

- ・ 通過市町の意見が少ないので、計画自体を住民に周知していく観点から広報等を活用してほしい。
- ・ ルート、インターチェンジのいちについては了承する。
- ・ 都市計画等の必要な手続きに進んで良い。